

ワイン課研修レポート

この度 12月2日(日)長野県東御市にある畑にてブドウ木の土寄せ研修に参加させていただきました。

今回土寄せしたのはリースリングとシャルドネです。寒い冬を越せるよう木の根元にふかふかの土をかぶせて温かくする作業となります。耕運機を使い木の周りの土を掘りお越し土を寄せるのですがこの土壌は土が固く雑草の根が非常に多いため桑で土を寄せるのは一苦勞でした。

そんな作業のなかふとブドウ木に目をやると根本付近にぽっかり穴が開いているのを発見しました。実はこの穴の中には蛾の幼虫がいるようで木の栄養を吸い取ってしまっているようです。こうなってしまう木はブドウの成長も悪く危険信号を出し葉を赤くさせたりするようです。正しい対処法は不明だそうで現在は穴に酢水を入れて幼虫が苦しくなってきたところを捕まえているとのこと。フランスにこのようなことがあるのかということと幼虫が住み着かないようにするにはどうすればいいのかは現在調査中だそうです。

今回はこのような貴重な体験ができる機会を与えてくださり本当にありがとうございました。最後に今回の研修の画像をいくつか撮影したのでご参照して下さい。



まだ作業する前の畑です。この日は雲一つない晴天。景色が最高です。標高も高く日照時間も長いため好条件の畑。



桑を使って土寄せの作業。若さってすごい！私たちより 3 倍の速さで動くオザミトーキョーホールの国吉さん。



シートを敷いて一休憩。荻野夫妻よりサンドイッチやお茶、お菓子をいただきました。ありがとうございます。



土寄せ完了。寒くないようホカホカに。



虫が住み着いてしまった木を発見。なかには幼虫がいました。早期発見対処が重要だそうです。

レポート ビストロオザミ 小林